

# しらぬか

2023. 10.25 NO.162

## 議会 だより

- 2 令和5年第3回定例会概要
- 4 令和4年度決算審査
- 8 一般質問8人
- 17 意見書
- 18 委員会活動
- 20 町民と議会の懇談会〔開催案内〕

### カムイニ (火の神への祈い)

「フンペ (鯨) まついイチヤルイ」



## 条例等

### 一部改正

#### ●白糠町共同利用模範牧場の設置及び管理に関する条例

共同利用模範牧場の用地と隣接する農用地を活用した、民間事業者による再生可能エネルギーと農業が一体となった取り組みを推進することに伴い、共同利用模範牧場の位置および面積の一部を除外するため、条例の一部を改正。

### 質疑・答弁

問 除外地を利用する具体的な企業は。

答 株式会社町おこしエネルギーになる。

#### ●白糠町スポーツ施設の設置および管理に関する条例

北海道が定める公衆浴場入浴料金の統制額が道知事より告示され、温浴施設の利用料金の上限額を改定する必要が生じたことに伴い、白糠町スポーツ施設の設置および管理に関する条例の一部を改正。

※改正後の温浴施設料金は、広報しらぬか 10月号 27頁に掲載されています。

## 特別委員会の設置

### 決算審査特別委員会

令和4年度一般会計および各特別会計決算審査のため、議長と議会選出監査委員を除く10人の委員により「令和4年度白糠町各会計決算審査特別委員会」を設置しました。

決算審査質疑内容は、5頁から7頁に掲載しています。

### 道の駅移転改築および白糠駅周辺整備事業調査特別委員会

道の駅移転改築および白糠駅周辺整備事業に関する調査のため、議長を除く全議員により調査特別委員会を設置しました。

正副委員長の互選内容などは、18頁に掲載しています。

## 行政報告

### 外国語指導助手の着任

外国語指導助手、コルベット・マシュー・ジェムズさんが、8月に着任したことが、教育長から報告されました。

#### ●着任あいさつ（抜粋）

皆さん、初めまして。コルベット・マシュー・ジェムズと申します。マシューと呼んでください。出身はアメリカのサウスカロライナ州です。この7月に、白糠町のALTとして、着任しました。主に白糠学園に勤務します。私が大学に入って日本語を勉強し始めた頃は、自分が日本に移住するとは思ってもみませんでした。しかし、日本語と日本文化を勉強するうちに、日本に来たいと思う気持ちが高まり、今、その思いがかなって、ここ、白糠町にいることはとてもラッキーだと思っています。



マシューさん

北海道は初めてですが、すでに歓迎されていると感じています。これから、たくさん日本や白糠町の文化を学ぶのが楽しみです。以上、誠に簡単ですが、私からのあいさつとさせていただきます。

## 規約の変更

次の組合を組織する構成団体に新たに加入する組合が生じたことに伴い、組合規約の変更を議決しました。

・北海道市町村職員退職手当組合

## 意見書

#### ●ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

●国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書  
可決した意見書は、内閣総理大臣をはじめ関係大臣、衆・参両議院議長に提出しました。

17頁に意見書を掲載しております。

## 5年度補正予算

### 一般会計補正予算

補正合計 1億 1264万 5千円

総額 178億 1341万 3千円

#### ●増額

新型コロナウイルスワクチン接種対策費	24,548,000円
合併処理浄化槽設置整備	9,395,000円
産業用地造成事業	60,000,000円
しらぬか魅力発信事業	8,353,000円
イルミネーション設置等業務	10,000,000円
返還金	349,000円

### 質疑・答弁

問 新型コロナウイルスワクチン接種の関係で乳幼児から高齢者までのそれぞれの区分の対象者と接種率の想定は。

答 6カ月から5歳までの乳幼児は15人、予定接種率86%。6歳から11歳の小児は対象70人、予定接種率42%。12歳から64歳までの対象者3,571人、予定接種率48%。65歳以上は対象者3,270人、予定接種率57%と想定している。

問 イルミネーションの関係で電力はどのように考えているか。

答 庶路学園は、校舎から引き込みする予定で道通公園は、公園内にある施設から供給する。また、電気代は、2カ所で5万円という試算となっている。

## 表彰

議会議員として25年以上在籍した者として、全道町村議会議長会より小池議員が表彰を受けました。



小池憲一議員

# 第3回 定例会

9月11日

- ・行政報告
- ・特別委員会の設置
- ・一般質問
- ・令和4年度の決算審査を特別委員会に付託

9月12日

- ・補正予算
- ・条例改正等
- ・組合規約の変更に係る協議
- ・教育委員会委員任命の同意
- ・固定資産評価審査委員会委員選任の同意
- ・意見書

9月15日

- ・令和4年度決算審査特別委員会審査報告
- ・条例改正

## 委員の任命等

### 教育委員会委員の任命

9月28日に任期満了を迎える教育委員会委員について、任命の同意をしました。

・鍛冶 恵子 氏（再任）

### 固定資産評価審査委員会委員の選任

9月30日に任期満了を迎える固定資産評価審査委員会委員の選任の同意をしました。

・峯田 悟 氏（再任）



# 令和4年度 一般会計歳出 257億3,767万円 決算審査

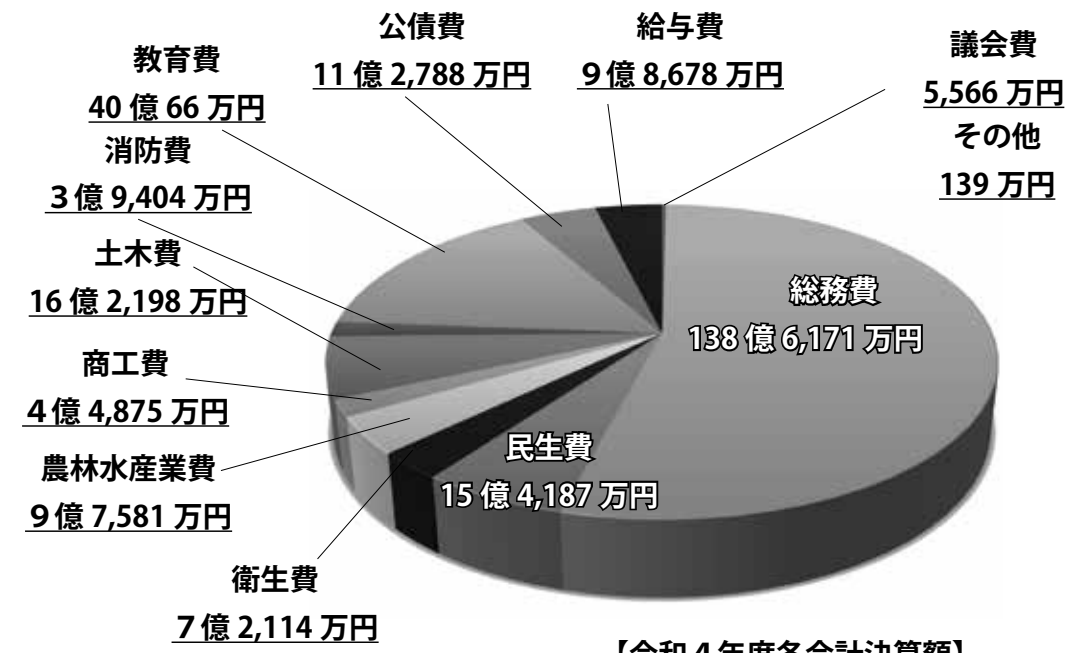
決算審査は、執行済みのも  
のとして軽んじられる傾向で  
すが、議会が決定した予算が  
適正に執行されたかどうかを  
審査するとともに、各種資料  
に基づき、行政効果や経済効  
果を測定し、住民に代わって  
行政効果を評価する、極めて  
重要な審査です。



また、税金の使い方を決め  
る予算の審議と、その使われ  
た結果を予算に照らして検討  
し、以後の行財政運営の改善  
に役立てる重要な意味を持っ  
ています。

令和4年度の一般会計、各  
特別会計および企業会計は、  
決算審査特別委員会（福地裕  
行委員長・折出征清副委員  
長）を9月11日に設置して、  
9月13日から14日の2日間  
の集中審議の結果、全会計を  
認定しました。

## 一般会計歳出 257億3,767万円



【令和4年度各会計決算額】

	歳入	歳出	差し引き
一般会計	259億4,415	257億3,767	2億648
国民健康保険特別会計	9億6,640	9億5,720	9,200
簡易水道及び飲用水道	9,009	8,628	381
供給事業特別会計	6億5,794	6億5,037	757
介護保険特別会計	10億2,928	10億510	2,418
後期高齢者医療特別会計	1億4,163	1億4,157	6
合計	288億2,949	285億7,819	*12億5,130

(※1 差し引き後、残金の一部は積立などを行い、残りを繰り越しました。)

### 町債(借金)と基金(貯金)の状況

(一般会計) 令和5年3月末人口：7,233人

**町債(借金) 137億7,515万円**  
町民1人当たり 約190万円  
前年比1億7,561万円の減

**基金(貯金) 174億6,201万円**  
町民1人当たり 約241万円  
前年比37億3,784万円の増

## 決算質疑

### 令和4年度 予算は適正に使われた？



折出副委員長 福地委員長

#### 企業活動の支援

問 企業活動の支援を4件行っているが、これにより雇用が増えたなどの成果があったのか。

答 4件の企業支援を行い、雇用の創出は、1件の事業所で、当初5人雇用の計画であったものが、7人の雇用となった。

そのほかの企業は、今後雇用が増える計画だが、当面は設備を導入することにより、生産能力を向上させ、軌道に乗った段階で雇用を創出

#### 町内活動の充実

問 自治振興費の負担金補助および交付金の不用額176万円の内容は。

答 主な要因は、白糖町連合町内会への活動費補助金150万円と白糖消費者協会への補助金16万円となっており、コロナの影響で、研修会等の活動がそれぞれの団体で行えなかったこと。また、街路灯の補修残となっている。

すると企業から聞いている。

#### ふるさと納税事業

問 ふるさと納税推進費、委託料の支出先は。

答 主にふるさと納税を受け付けるポータルサイトへの委託料や、ふるさと納税の返礼品を発送する事業者への委託料となっている。その他、パンフレットの制作や、ふるさと納税に係るワンストップ特例申請書の発送などにも委託料を支払っている。

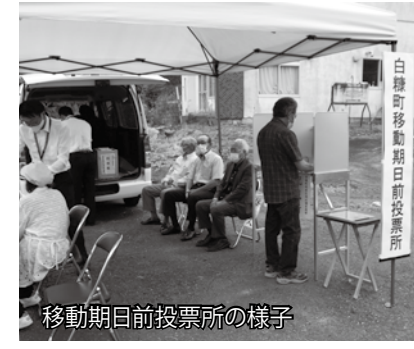
#### 移動期日前投票所

問 移動期日前投票所を開設し、今回の国政選挙で実施した3カ所の投票率が出ているが、取り入れる前と比較してどうだったのか。

答 移動期日前投票の比較は出来ないが、全体の投票率と比べると比較は、令和3年度の衆議の期日前投票では、大秋集会場および北進集会所の投票率が60%、上庶路生活改善センターについては71.42%という結果で、令和

4年の移動期日前投票を行った地区の合計の投票率は、大秋地区は68.42%、二股地区は64.28%、上庶路中央地区は80%と全体的な投票率は向上している。

#### 防災



移動期日前投票所の様子

問 ジュニア防災教室の推進について、執行率が8.3%と低い理由は。

答 中学生を対象としたジュニア防災教室は、これまで大ニア防災教室に依頼して学教授などに講演を依頼していたが、コロナウイルス感染症予防の観点から、学校側から外部講師の希望がなくなり、防災担当職員が講師を努めたり体験教室などを実施し

たことにより予算に対する執行率が低くなった。

問 防災ハザードマップが配布されているが、小冊子のような形の方が保管率が良いのでは。

答 令和4年度に北海道が中小河川8河川の浸水想定区域を追加したことにより、マップのページ数が増えたため、保管しづらくなったことは理解している。

防災授業など防災教育の場で、ウェブ版の紹介や使い方を指導しているが、引き続き紙のハザードマップを使わなくても確認できることなどを啓発していきたい。



白糖町防災マップウェブ版QRコード



### 水道管の耐震化

水道管の耐震化をどのように進めていくのか。

浄水場などの大規模改修が終了したので、管路の更新に力を入れていこうと考えている。年間の現行水道料金を維持しながら、自己財源の範囲で更新していきたいと考えている。

### 高齢者支援

高齢者の支援で、タクシー・町営バス共通運賃補助券の対象者は何人いるのか。また、援助額は幾らか。

対象者が1690人に対し、交付者が1211人。交付率は71・65%となっている。交付枚数は、7万2660枚で金額は726万6000円になる。交付のうち利用されたのが4万9255枚で、金額は492万5500円になる。

### こども未来応援事業

新規事業の子どもの生活実態調査だが、調査が終わり、この内容の取りまとめは終わったのか。また、今後これをもとに町としてどのように活用していくのか。

調査は、令和4年7月に、小学校4年生から6年生と中学生、高校生と、その保護者全員にアンケート調査を実施し、調査結果は出ている。令和6年度に子ども子育ての計画の策定があるので、今後、調査データを基に対策を盛り込むような形で考えている。

### 農業

野菜生産推進事業、執行率52・7%、当初予算額の約半分の執行状況となっているが、これで十分な支援ができたのか。

最終予算額は、野菜栽培のみで生計を立てられている大規模農場がメインとなること

### 水産

とを想定し、4件の限度額160万円を計上した。この事業を茶路マートの説明会などで利用出来ることを伝えていたが、資材高騰などの理由により、補助制度が活用されなかった。

マツカワは、白糠漁協でどのくらいの水揚げ量があり、また、金額にして幾らか。水揚げは、令和4年度実績で、5・3トンとなっており、金額は586万6000円となっている。

令和4年5月に放流した、ホタテ稚貝が5割程度の生残率ということ、佐呂間など、以前から実施している産地の生残率はどれくらいなのか。

佐呂間などの産地の生残率として、湧別漁協出身の水産支援員からは、最終的に12・5%から10%ぐらいに落ち着くと聞いている。

### 教育

放課後学習サポート事業で人件費の1000万円は外部講師の人件費なのか。また、誰がやっているのか。

講師は、釧路市の学習塾あすなろ会に委託しており、その講師の人件費となる。町内在住者は3人のうち1人で、残り2人は釧路市在住となっている。



放課後学習サポートの様子

GIGAスクール構想の推進で、児童生徒一人1台の端末というのだが、現状この端末は何台使用されているのか。また、耐用年数と更新時期はいつか。

令和2年度に386台を導入し、現在、児童生徒の数が358人で、予備が30程度あり、壊れたときにはそれを活用している。耐用年数は5年で、更新時期は令和7年度を見込んでいる。

情操教育の推進でピアノの演奏家などの練習場所の確保はどのようになっているか。

各学校および社会福祉センターで練習をする体制を整えている。



(左から) 齊藤弥音さん、山田陽子さん

白糠高校教育活動への支援で高度な資格取得の助成について、資格の内容と人数は。

また、給付型の奨学金252万円は何人の生徒を対象に支援したか。

資格取得助成は合格者が受験費用の全額を、また不合格となっても半額を助成している。令和4年度の実績は、1年生から3年生合わせて303人の受験者があり、うち123人が合格、不合格は180人となっている。給付型の奨学金は252万円、7人分の給付となっている。

防犯カメラの設置事業、画像は常時誰かがモニターしているのか。

防犯カメラはネットワーク接続型ではなく、本体にデータが保存され、2週間程度をめどに、書き更新される。プライバシー保護の観点から、誰でも閲覧できるわけではなく、必要ときにカメラからデータを取り出して見る。担当でも、自由に見ることとは出来ない。



防犯カメラ

白洋大学の在籍者数と学習の内容や開設状況は。

白洋大学は、令和4年度32人の学生が在籍していた。活動内容は、新型コロナウイルスの影響から、一部事業の縮小や中止がされたりしていたが、特別活動や学習会の中で、生きがいピク、花壇整備、お笑いDVDの鑑賞会、ペーパークラフトの作成などを行った。

公民館図書室と各学校図書館のオンライン連携790万円の事業内容は。

各学校図書館にシステムを導入して、公民館図書室のシステムと連携した。学校図書館は公民館図書室の分館の位置づけとして連携し、それに伴い学校図書館の蔵書を全て登録する必要があり、会計年度任用職員を1人採用し、1年間かけて各学校の図書登録してシステムの整備を行った。

図書室の蔵書の予算460万円程度だが新刊の購入状況は。

新刊図書は約300万

円の予算を計上し、年間1500冊ほど購入している。

85日で1685人の武道館の利用内容は。

改修などもあり実績は少ないが、柔道少年団と剣道少年団の利用となっている。

給食センター調理室のクーラーの設備はどうなっているか。

エアコンを使って冷やすようにはなっているが、機械も古く施設も大きいため、夏場の暑い時だと冷やしきれなくて暑くなる場合もある。

給食費、1食当たり小学生で234円、中学生で273円となっているが、食材が高騰していた中、この予算内で量を減らさずに配食できたのか。

令和4年度当初、野菜や肉などが値上がりした。そのため予定していた豚肉のメニューを値段が比較的安い鶏肉に替え、量は減らさずにメニューで工夫し予算内に収めた。

### 決算審査特別委員会講評(抜粋)

令和4年度において、昨年2月に始まったロシアのウクライナへの軍事侵攻は、新型コロナウイルスの第6波から第8波の影響、さらには世界的な気候変動による大規模な干ばつなどと相まって、世界を巻き込んだエネルギーなど、あらゆるものの高騰へとつながり、町民の経済状況に多大な影響を及ぼした。そうした中、国による「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」などを機動的に活用し、各種の施策や地方創生事業などを展開したことは評価するところである。着実に実績を伸ばしている

「ふるさと納税」により、自主財源比率が年々向上し、その成果を高く評価するところであるが、集まった浄財の活用にあたっては、寄付者の意もくんだ施策となるよう十分検討するとともに、これまでと同様、活用できる特定財源などは全て活用し、ふるさと納税に頼りすぎない、健全な財政運営を堅持されたい。

マイナンバーカードの交付にあたっては、担当課職員が一体となり、休日や夜間窓口の開設、庁舎外での積極的な

申請受け付けの実施により、令和4年度末の交付率は、釧路管内で1位、道内でも39位と目を見張るものがある。今後においても、身分証明証や保険証など、多様な利用が期待されるマイナンバーカードの普及に努められたい。経常的な事務の執行にあつては、配分予算を効率的・効果的に執行され、経費節減に努められているが、今後も継続的に取り組まれることを望むものである。

各担当においては、本特別委員会の審査過程での各委員による質疑内容に意を用い、創意工夫を凝らした、町民との協働による事務事業の執行に鋭意取り組まされたい。以上を審査の所見として、令和4年度白糠町一般会計、各特別会計、水道事業会計、並びに、令和4年度水道事業会計の剰余金の処分について、認定、可決すべきであると決したことを報告する。

なお、併せて行った「白糠町創生総合戦略」の検証における各委員の意見・提言が、後年度のまちづくりに活かされるよう、願うものであることを申し添え、令和4年度白糠町各会計決算審査特別委員会の講評とする。



# 問い合わせ 提案する

# 一般質問

議員8人が18件25項目について質問しました。  
一般質問は1人90分以内で、町長・教育長等に対して広く町政に関する説明を求めます。

森 武人 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・9分

- 1 チャットGPTの導入について
- 2 白糠コミュニティバスのバス停の設置について
- 3 資源ごみ収集日の増について

石田 正義 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・10分

- 1 子育て支援について
- 2 生き生きしらぬか外出支援助成事業について
- 3 地元産木材の利活用について

中河 敏史 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・11分

- 1 旧白糠小学校の活用について

折出 征清 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・12分

- 1 職員のメンタルヘルス対策について
- 2 ふるさと納税制度のルール見直しについて

池村 美博 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・13分

- 1 災害対策について

川森 静 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・14分

- 1 小中学生の体力向上対策について
- 2 生き生きしらぬか活動応援ポイント事業について

福地 裕行 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・15分

- 1 ワクチン追加接種について
- 2 両「駅」の整備について
- 3 まちの活性化について
- 4 農業委員の経歴錯誤について

今田 睦子 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・16分

- 1 マイナンバーカードについて
- 2 道立広域公園について

※掲載している内容は、質問者自身が要約し広報広聴調査特別委員会  
が校正したものです。

## 問 チャットGPTの導入について

**答** 導入について慎重に検討を進めていきたい

**問** 自治体でのチャットGPTの導入は、本州自治体で事例があるが、北海道内ではない中、石狩管内当別町で実証試験を始めた旨の報道があった。  
本町でも、事務の効率化を図るうえで効果的な手段と判断されるが、今後導入に向けた考えはないか。

**答** 事務の効率化による職員の負担軽減や生産性の向上など

につながる可能性を秘めているが、生成された返答の正確性や情報漏えい、著作権侵害など、さまざまなリスクも指摘されていることから、国からも導入にあたっては一定のルールを定めたガイドラインの策定が重要と通知がある。今後、国や他の自治体の動向などの情報収集を行いながら、事務の効率化やリスク管理の両面から、導入について慎重に検討を進めていきたい。

**問** 文科科学省では「チャットGPT等の生成AIの学校現場の利用に向けた今後の対応について」公表しているが、本町の学校現場で今後の導入について、また、教職員の導入状況と今後の対応について併せて伺う。

**答** 現段階で、生成AIの導入を行っている。今後は、これから進められるパイロット校の実践を参考にするとともに、教職員研修を受講するなどして、生成AIの活用による教育活動の成果と課題を押し、児童生徒の実態に応じて、導入の検討をしていき

たいと考えている。

## 問 白糠コミュニティバスのバス停の設置について

**答** 町として新たなバス停の設置は考えていない

**問** 白糠小学校の移転に伴い『放課後児童クラブ』を利用する児童は、栄橋を渡らなければならぬ。冬期間に降雪時などに茶路川を渡ることは、低学年には難儀なことである。  
放課後児童クラブの会場となる、やまびこ会館にバスは止まらない。やまびこ会館、併せて保健センター利用者の利便性を考え、バス停の設置が必要と思うが対応できないか伺う。

**答** 児童生徒の学校への登下校については、原則、徒歩となっており、各学校において保護者へ説明をしている。『放課後児童クラブ』への登館についても、下校時と同様に徒歩となる。「やまびこ会館へのバス停の設置について」は、

## 問 資源ごみ収集日の増について

**答** 人員確保の面などからも収集回数を増やすことは、現時点では困難

**問** 市街地域における「特殊ごみ・資源ごみ」の収集は、第2・第4週に行われている。ビン類や缶類・ペットボトルのほか、カップ麺やコンビニ弁当の容器など、世代を問わず、手軽に食事ができる分、資源ごみの量も多くなってきている。  
可燃ごみ同様に、資源ごみも毎週の収集を望む声が多くあるが、新年度に向けて対応できないか。

**答** ごみ収集の回数については、「ごみ処理有料化」を導入する際に、議会の厚生文教

常任委員会や廃棄物減量等推進審議会等で決定しており、その際、有料化による収入を活用し、ごみ収集の回数を増やす事なども検討したが、ごみ収集の回数を増やす事により、町民のごみ処理経費の負担が増加することに直結するとの結論に至ったことから、有料化前の収集体系を継続することが最良と判断した経過である。また、ごみ収集の回数を増やすためには、収集作業に従事する人員の増加や車両の追加が必要となり、町が委託している業者と協議したが、現在、限られた人員や設備の中で最大限の対応を行っており、人員確保の面などからも収集回数を増やす事は、現時点では困難であるという回答である。

**問** 人員確保の面などからも収集回数を増やす事は現時点では困難とあるが、人員の募集はいつ行ったのか。

**答** 昨年度募集したが、今年度は募集していない。ごみの減量化や適切な分別について啓蒙啓発活動に努めていく。



もり 武人 議員





石田 正義 議員

**問** 子育て支援、出生率を上げるための新たな支援策は

**答** 若い世代の声を聞きながら見直していく

**問** 人口減少に対応するため全国の自治体が色々な対策を講じ成果を上げていけると聞く。人口減少が続くと、町が存続しない。  
**答** 出産祝金も他自治体に比して低いと思われる。物価高により親の負担も増加している。見直す考えはないか。

**問** 医療費や給食費など手厚い支援をしていただいている。ただ町内に小児科がない。出産祝金についても他町村にまけないくらいの支援策を考えてほしいと思う。

**答** この問題は町づくりそのものであり、基本、経済活動だと考えている。ここに来ていただく若者がいなければ、子どもも生まれない。

今、どの業界も人手不足で、海外に頼らなければならぬ時代に入っている。それらを頭に入れて、町を将来どう活性化させていくか。データの来りたりして、方向性は間違っていないと考えている。  
**現在、わが町で提供している支援策は、他地域からとて**

**も評価されている。何でも無**

料にして、また金額を増やせばいいと言うことにはならない。町づくりと連携してしっかり対応していく。  
**また、小児科は、全道、とりわけ東北海道は、小児科だけでなく産婦人科も少なく、全道的な問題である。**

**問** 生き活きしらぬか 外出支援助成事業の助成額の引き上げの考えはないか

**答** タクシー運賃の高騰も考慮し、今後の動向も見据えて検討していく

**問** 満75歳以上の高齢者、満65歳から74歳以下の免許返納者、障がい者、要介護認定者に一人当たり6000円支給助成が行われているが、外出機会の拡大や地域福祉の向上、交通事故防止のため高齢者免許返納を促すためにも、助成額を引き上げる考えはないか。

**答** 初乗り運賃の高騰を考慮した上で新年度に向け検討していく考えである。

**問** 公共事業に木材を多く使用する考えは

**答** 公共施設に多くの地域材を活用するよう検討していく

**問** 近年木材需要がだぶつき木材界は大変厳しい状況。コロナによるウッドショックやロシア、ウクライナ戦争も影響し、資材が高騰し住宅が建たない。  
**答** 公共事業に木材を多く使用するなどの考えはないか。

**答** 森林の適正な整備、保安、地域経済の活性化、雇用創出、さらに脱炭素社会の実現、資源循環型社会形成のためにも今後予定される公共施設に多くの地域材を活用していくよう検討していく。  
**木材を使用するには基準単価が合わないと言う問題もあるが、木材を使用すると決めて、それでいろんな補助制度を取り入れるなど、しっかりと考えながら将来に向けて進めていく。**



中河 敏史 議員

**問** 旧白糠小学校の活用は

**答** 決まっていない

**問** 旧白糠小学校は現在、総合体育館の補修工事のため体育館のみが使用されているが、他は決まっていないとのこと。今後、どのように活用するか。

**答** 昨年8月20日の白糠学園開校後の旧校舎、体育館の利活用については、公共施設としての利活用のほか、津波一次避難場所としての活用の検討を進めてきた。

体育館については、総合体育館の大規模改修に伴う、代替施設として7月より使用を開始し、改修工事が完了する来年3月まで使用する見込みである。校舎については地域の一次避難場所として整備を予定していたが検討の結果避難場所としての整備はしないこととした。

今後は、この先、改修等が予定されている社会福祉センターの一次移転先として活用

することを含め、引き続き、公共施設としての利活用や民間による利活用について検討を進めていく。

**問** 旧白糠小学校の耐用年数の残は。

**答** 旧白糠小学校は39年が経過している。耐用年数は一般的に50年から年々60年といわれているが整備状況によりさらに伸びる可能性がある。

**問** 民間による利活用も検討しているとのことだが内容は。

**答** 現在民間による利活用は定まっていない。文部科学省が実施している廃校を活用したい事業者とマッチングを行う「みんなの廃校プロジェクト」があり、情報を全国に配信し、民間事業者による利活用を促すものであり、全国ではさまざまな事業が行われている。今後、参加も含め検討していく。



旧白糠小学校

**問** 町内、旧河原小中学校の利活用は。

**答** 旧河原小中学校については防災の備蓄基地になっている。今後については地域と協議をしながら利活用していきたい。

傍聴者へのお願い

- 1 携帯電話、スマートフォンは電源をお切りください。
- 2 開議中は、飲食・喫煙はできません。
- 3 カメラ・録音機器の持ち込みはできません。
- 4 私語などにより議事の妨害、他人への迷惑をかけないようにしてください。
- 5 帽子やコートなどは着用しないでください。

議会に足を運んでみませんか。

町民皆さんの議会です。

定例会開会前に役場1階ロビーで会議日程および一般質問の概要を掲示しております。

町のホームページにも議会情報を掲載しております。

<https://www.town.shiranuka.lg.jp/>





折出 清 議員

**問** 職員のメンタルヘルス対策は

**答** 職場全体で不調者の早期発見・対応に努める

**問** 地方公務員にも時間外勤務の上限規制が導入され、原則、月45時間以下、年360時間以下となったが、令和4年度における本町職員の状況と、一人あたりの最長時間はどうか伺う。

**答** 令和4年度における本町職員の時間外勤務の状況と一人あたりの最長時間は、選挙事務や新型コロナウイルスワクチン接種業務などの臨時的業務を除いた通常業務で、月45時間かつ年間360時間を

超えて時間外勤務をした職員は、いずれも年間を通してではなく、業務の関係から一定期間に集中している状況であり、一人当たりの最長の時間は494時間という結果であった。これまでも、時間外勤務事前命令やノー残業デーの徹底、時間外勤務削減のための業務改善に努めるよう職員に通知してきたが、いずれも長時間労働により心身の健康が損なわれることがないよう、引き続き職員の適切な勤務時間の把握に努めるとともに、上限時間を超えて勤務した要因の整理、分析および検証を行いその結果を踏まえ、業務量の削減や業務の効率化など時間外勤務削減に向けた対策を強化していく。

**問** 最長の超過勤務時間は約500時間と現状は理解しますが年度360時間を超えている職員数と、業務量の削減はどのように取り組む予定か伺う。

**答** 令和4年度、360時間を超えている職員数は9人。管理職や上司が事前に命令をし

ているので、その状況を踏まえ削減出来るよう指導や協議を行っていく。

**問** 「労働安全衛生法」により義務づけられているストレスチェックがどのような機能を持っているか伺う。

職員については今現在は通常に勤務している。

**答** 本町では、平成28年度から全ての職員を対象にストレスチェックを実施しており、その結果から高ストレス者を対象に町が委託している産業医との面接指導の勧奨や業務分担の見直し、さらには人事異動などの措置を講じ、対処してきている。今後は、部署ごとの分析結果を各管理職と情報共有して職場環境の改善に取り組むなどメンタルヘルス対策をより一層推進していく。

**問** 総務省が推進している「メンタルヘルス対策に関する計画」について、今後策定する予定はあるか伺う。

たに寄付金の受領証明書の発行手数料などを追加するとした。

**答** ルールを遵守し、適正な制度運用を図る

**問** 本町のふるさと納税については、令和4年度で148億円を超える実績で、昨年に引き続き全国で4位となり、目を見張るものがある。返礼品競争が過熱するなか、国は本年10月からルールを見直し「5割以下ルール」に新

た後、また雲が戻ってきて、さらに大雨が続く、想定外の被害が増える。このような現象は今までになかったとのこと。また文字通り、線上に長い地域で大雨が起こることから、近隣市町村も同じ被害を受けるので、災害支援が受けられない状況になる。

**問** 災害対策について

**答** 来年度より抜本的な排水対策の検討を進める

**問** 今年も大雨災害が沖縄や九州から始まり、日本列島を襲っている。

**答** 2023年はスーパーエルニーニョ現象が発生。猛烈な風や非常に激しい雨、しかも速度が遅く影響が長引く大雨となり、その力は過去に経験したことがないような想定外

な被害を及ぼしている。今後北海道でも局地的豪雨、今までの大雨をもたらす線状降水帯の発生する可能性もある。

**問** 本町には大雨発生時に排水が追い付かず、道路が浸水して、早期避難に支障が出る地域がある。安全対策として、大きな排水能力を持つポンプ車を配備をする考えはないか。

**答** 大型排水ポンプ車の導入では解決が難しいため、来年度より抜本的な排水対策などの検討を進めていく。

日本国内においては、近年特に気候変動による台風やゲリラ豪雨、線状降水帯による大雨災害が多発し、特に西日本を中心に、甚大な被害が起きている。

本町はこういった事態に対応するため、大雨による河川増水に伴う内水氾濫対策としては、茶路川、庶路川下流などに9カ所14基の災害用排水ポンプを整備。処理が追いつかない場合を想定し、町内の土木事業者3社と委託業務契約を結び、必要に応じて排水

ポンプの稼働ができるようにしているほか、消防白糠支署ならびに消防団車両9台も排水支援にあたることとしている。現状の雨水対策については、本町の地勢から時間あたりの雨量で20ミを越える降雨が数時間続くと、茶路川下流域の住宅地で道路が冠水するなどの浸水が始まり、場合によっては降り始めからの雨量が80ミ程度の降雨でも排水が困難となる地域(旧消防庁舎跡地から西側)があることから、流末の排水ポンプの能力向上などの対策を講じているが、その解決は、長年の大きな課題と認識している。

**問** 線状降水帯は、2014年8月広島県の大雨から発生した新型の災害であり、まだ白糖は体験していない。特に今年のは発生は多く、世界規模で温暖化対策が進まない現状では、今後ますます増えるといわれている。

**答** 鉦路開発建設部の大型排水ポンプ車の支援も含め、官民オールランドで対応できる体制をつくっていく。



池村 美博 議員





川森 静 議員

### 問 小中学生の体力向上対策は

**答** さまざまな方法で授業づくりを工夫している

**問** 全国体力テストの結果も踏まえ、具体的な取り組みの内容を伺う。

**答** 各調査の結果を踏まえ、学年における体力テストの定期的な実施を通して子どもたちそれぞれの目標達成に向けた取り組みと、運動を行う動機付けを充実するなどの授業づくりを工夫しており、さらに白糠町教育研究所においても、「体力向上部会」を設置し、全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を踏まえた児童生徒の体力向上に資する研究授業を実施するなど町内3校の教員がそれぞれの取り組みを実施し、更に相互に研さんを積む機会も設定しており、これらの取り組みを継続していく。

**問** 基本的な体力づくりには家庭との連携も必要と思うが取り組みについて伺う。

**答** 体力づくりには、生活習慣の見直しも重要なことであり、実際今年度実施の学年において朝食摂取の問題や睡眠時間が少ない問題などに該当した児童生徒もいたことから、学校での対応のみならず家庭との連携が重要であるということも明白で、今後これまでに上に家庭との連携を強め、児童生徒の運動を行う動機づけ体力づくり、生活習慣の見直しを更に検討していきたい。

**問** 活動応援ポイント事業の問題点は

**答** 事業全体ではおむね好評であったが、一部ポイントの見直しを行った理由を伺う。

**答** 令和4年度より実施した事業で、活動ポイント30ポイント達成で地域商品券(シラ

トピア商品券)3000円分を交付するもので、おむね好評であったが、人によってはハードルが高いなどのご意見があり、対象者誰もが参加できやすいように一部ポイントの見直しを実施した。

**問** 実施期間及びポイント交換期間を1カ月短縮した理由を伺う。

**答** ポイント交換に係る委託先より繁忙期を避けてほしいという要望があり、冬期間であることも考慮し短縮したが、利用者にとって利便性が図れるよう期間の見直しや、ポイント交換の方法についても今後検討したい。

**問** パークゴルフ場の利用で、インチャロのみがポイントの対象となっている理由を伺う。

**答** インチャロ以外のパークゴルフ場では確認できることが一番であるが、現状管理人がおらず、確認が困難であるため対象外としているが、インチャロ以外のパークゴルフ場において多数の利用者がい

- ※ポイント対象事業
- 健診の受診(A)
  - 胃がん検診や特定健診など(6検診と4健診)
  - 健康づくり活動(B)
  - 健康まつりやパークゴルフインチャロの利用など(全15活動)
  - 生きがいづくり・参加型活動(C)
  - 防災訓練や公民館講座など(全11参加型活動)
  - 自主活動(D)
  - ウォーキングや町内活動をする他、その他など3つ以上の活動を行った場合



福地 裕 議員

### 問 町民の命が危うい

**答** 接種は任意

**問** 新型コロナウイルスの感染爆発は、大つぴらに而も入念に計画されていたことは、2019年10月にニューヨークでのシンポジウム「イベント201」でより明確に世界に示された。

当初から言及していたように欺瞞に満ちた茶番である。つまり政府は①感染症の基準を変え②でたらめなPCR検査なるもので感染者を膨大に水増し③死亡診断書の基準も変えてしまった。史上最大の医療犯罪・国家犯罪である。

秋接種のmRNAワクチン

は、世界で初めて日本で集団投与されるが、長期的な安全性も全く担保されていない。命と健康にかかわる重大局面であるから、情報弱者の町民が慎重に判断するよう啓蒙すべきである。

**問** 何ががっかりかと思わないか。接種を重ねるほど、マスクを着け続けるほど感染している。

**答** 接種は任意であり、個人が必要を判断するものだが、秋接種についてより一層の情報提供に努める。

**問** 何かがおかしいと思わないか。接種を重ねるほど、マスクを着け続けるほど感染している。

半世紀間失敗を重ねた遺伝子治療薬を緊急承認でワクチンと命名し、歴史上最悪の薬害事件となった。ましてや、これから始まる「XBB・mRNAワクチン」は百害あって一利なし。

医の倫理・法理としてインフォームドコンセントを尽くし、リスクとベネフィットを知らしめる責任がある。

予防接種健康被害救済制度の周知も非常に重要である。

**問** 対応は不十分。国の言い

**問** 町民の再興に本腰を

**答** 思い切つて取り組む

**問** 道の駅「白糠駅前」整備は具体化しているが、衰退著しいまちの現状を診る時、果たして真にどこまで町民のためになるか疑問もある。

**問** 「道の駅」「白糠駅前」整備は具体化しているが、衰退著しいまちの現状を診る時、果たして真にどこまで町民のためになるか疑問もある。

**問** 百年の大計！

**答** 道の駅は最大の情報発信施設であり、交流人口の拡大や産業振興への貢献など、まち全体に波及効果があり、観光拠点としても大きな役割を果たしている。また駅前整備も百年の大計として見据えた事業であり、商店街の活性化も期待される。

**問** 整備は賛成だが、身の丈に合わせなければならぬ。而も差別化を図らなければペイしない。

**答** まちの現状と未来を見据えて取り組む。

### 問 町の再興に本腰を

**答** 思い切つて取り組む

**問** ふるさと納税寄付金が潤沢に積み上がる今こそ、並行し、政治家として大局観に立ち、ビジョンつまりまちの在り方を明確に発信し、本腰を入れて取り組む時である。

**問** 公職の錯誤はNG!

**答** 訂正したのでOK!

**問** 先に農業委員の任命につき同意されたが、公人たる者の公職につき錯誤があつてはならない。その精査と過年度の公文書への対応は。

**答** 今般、本人が卒業証明書

を取り寄せたが、「酪農学園短期大学酪農学校酪農卒」となっている。文章の修正を行う必要はない。

**問** 平成11年から農業委員に就いているが、野幌酪農高等学校卒と届出し、先般野幌高等酪農学校卒、そして酪農大卒・・・に訂正した。

**答** しかし、本人が卒業した3年3カ月後に今の校名に変更されたのであり整合性が取れない。

**問** 文書管理規程に照らし、問題はなにか。

**答** 今回の記録をもって整理。

**問** 職歴は農業(自営業)となつているし、また推薦の要件も満たしていないのではなにか。

**答** 本人の申告などに基づいた。

※個人的見解が含まれます。



## ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

本道の森林は全国の森林面積のおよそ4分の1を占め、国土保全、地球温暖化防止、林産物の供給等の多面的機能の発揮が期待されており、これらの機能を十分に発揮させるためには、森林資源の循環利用を進める必要がある。

全国一の森林資源を有する北海道において本町と道が連携し2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロとする国の目標の達成に向けて、伐採後の着実な植林による森林の若返りや長期間炭素を固定する木材利用の促進、化石燃料の代替となる木質バイオマスのエネルギー利用の促進など森林吸収源対策を積極的に推進することが必要である。

本町をはじめ、道内各地域では、森林の公益的機能の維持増進と森林資源の循環利用に向け、森林整備事業や治山事業など国の事業を活用し、植林・間伐や路網の整備、優良種苗の安定供給、山地災害の防止、木造公共施設の整備、森林づくりを担う人材の育成など、様々な取組を進めてきたところである。

本道の森林を将来の世代に引き継ぎ、環境への負荷の少ない循環型社会を形成するため、活力ある森林づくりや道産木材の利用、防災・減災対策をさらに進め、ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を図ることが必要である。

よって、国においては、次の措置を講ずるよう強く要望する。  
記

- 1 二酸化炭素の吸収など森林の多面的機能を持続的に発揮させるため、適切な間伐と伐採後の着実な植林の推進に必要な森林整備事業予算や、防災・減災対策の推進に必要な治山事業予算を十分に確保すること。
- 2 森林資源の循環利用を推進するため、成長が早く形質の優れたクリーンラーチなどの優良種苗の安定供給、ICT等の活用によるスマート林業の推進、木材生産・流通体制の強化、建築物の木造・木質化や、木質バイオマスエネルギーの利用促進などによる道産木材の需要拡大、森林づくりを担う人材の育成・確保などに必要な支援を充実・強化すること。
- 3 森林吸収源対策のさらなる推進に向け、森林の多い市町村において必要な森林整備がより一層進むよう、森林環境譲与税の譲与基準を見直すこと。

## 国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

北海道は、豊かで美しい自然環境に恵まれ、国土の5分の1以上を占める広大な大地と海に育まれた豊富で新鮮な食を強みに我が国の食料供給を担うとともに、特有の歴史・文化や気候風土などを有しており、これらの独自性や優位性を生かしながら、将来にわたって持続可能な活力ある北海道の実現を目指している。

こうした中、地域の産業を支える本道の道路を取り巻く環境は、激甚化・頻発化する自然災害による交通障害の発生や、日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震等のリスクが増大するなど、防災・減災、国土強靱化の取組が喫緊の課題になるとともに、道路施設の老朽化や通学路等の安全対策の推進が大変重要となっている。

今後は、北海道の強みである「食」や「観光」に関連する地域が持つ潜在力が最大限発揮されるよう、平常時・災害時を問わない北海道を支える基盤の確立に向け、安定的な物流や広域周遊観光を支える道路の整備が必要不可欠である。加えて、積雪寒冷地の本道においては、安定的な除排雪体制の確保など、冬期間の住民の安全・安心を図ることが必要である。

そのため、地方財政は依然として厳しく、また資材価格の高騰や賃金水準が上昇する中、道路整備、管理に必要な予算を安定的に確保することが重要である。

よって、国においては、国土の骨格を形成する高規格道路から国民の日常生活に最も身近な市町村道に至る道路網の整備や老朽化対策などを着実に推進し、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」をより一層推進するため、次の事項について特段の措置を講ずるよう強く要望する。  
記

- 1 道路の整備・管理が長期安定的に進められるよう、新たな財源の創設および必要な予算を確保すること。
- 2 「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を計画的に進めるために必要な予算・財源を例年以上の規模で確保するとともに、5か年加速化対策期間完了後も、昨今の地震・豪雨・豪雪などの災害の状況を踏まえ、国土強靱化に必要な予算・財源を通常予算とは別枠で確保し、継続的に取り組むこと。
- 3 高規格道路におけるミッシングリンクの解消および暫定車線区間の4車線化や、直轄国道の連携によるダブルネットワークの構築など、国土強靱化に資する災害に強い道路ネットワークの整備を推進すること。
- 4 橋梁、トンネル等の老朽化対策を推進し、予防保全による道路メンテナンスへ早期に移行するため、維持管理・更新事業に必要な技術的支援の拡充や予算を長期安定的に確保するほか、舗装修繕等の維持管理に係る制度創設や財政支援の充実・強化を図ること。
- 5 地域の安全な暮らしや経済活動を支える基盤づくりのため、子どもたちの安全・安心を守る通学路等の交通安全対策を強化・推進するとともに、冬期における安全な道路交通を確保するための道路整備や除排雪を含む安定した維持管理の充実に必要な予算を確保すること。
- 6 災害発生時の迅速かつ円滑な復旧等のため、北海道開発局および開発建設部の人員体制の充実・強化を図ること。



今田 睦子 議員

### 問 マイナンバーカードについて

普及啓発に努め、多くの町民がカードを取得するよう取り組む

問 町民の申請者数は何%までになっているのか伺う。

答 本町では、これまで通常の開庁時に加え、臨時的にマイナンバーカードの「夜間申請受付窓口」や「出張申請受付窓口」を開設し、町民に利用されてきた。「マイナンバーカード」の申請者数に対しての「申請率」は、令和5年7月末現在、「84.5%」となっており、釧路管内では1位、道内においても、30位という高い申請率となっている。

問 申請中、「健康保険証の利便登録」や「公金受取口座の登録」後、マイナンバーの受け取りなどのトラブルはなかったか伺う。

答 町では役場と庶路支所の窓口で、日ごろから職員一同丁寧な説明や親切な対応を心がけ、マイナンバーの申し込みのサポートを行っている。

これまで特に高齢の町民より、ポイントを受け取るキャッシュレス決済サービスに関する戸惑いの声が、数件寄せられている。ポイント受け取りに関するトラブルは確認されていない。ただしマイナンバーの制度上、役場以外で自身がお手持ちのスマートフォンなどを利用して申し込みの手続きをすることができ

るので、その際のトラブルについては町では把握できない状況となっている。

問 身分証明としてのマイナンバーカードが「住民票などの申請請求」などスムーズに機能する。便利さは感じているが保険証としての利用はこれからであり、報道にあるトラブルのほとんどがヒューマンエラーによるもので、町として徹底的に対策を行い、町民の不安を取り除いて行けるか伺う。

答 マイナンバーカードの健康保険証利用については、令和3年10月から本格運用が開始されている。昨今報道されているトラブルの内容については、マイナンバーに別人の情報が登録されてしまう、い

わゆる「誤登録」となっている。主な原因としては、医療保険者が被保険者の保険証とマイナンバーを連携させる際に、被保険者から誤った情報を提示されていたが、照合確認が不十分なために誤ってその情報を登録してしまうことや、同名同名、かつ、生年月日が同一な別人に連携してしまったりといった人為的なミスとなつている。国の制度を進めていく上でこれまで同様、確認作業に万全を期し、国と連携した誤登録の防止対策を徹底していく。

### 問 道立広域公園付近に桜並木の整備を

答 今後北海道、民間事業者と協議する

問 道立広域公園について北海道知事が「白糠町泊別地区を候補地に決定」と表明した。釧路管内の皆さんの要望が伝わり、白糠町泊別地区が12カ所目の候補地となり、『全天候型遊戯施設』を中心に誰もが集い合える場所として、早期整備されていく中で、白糠町として「町道庶路8号

線」に桜並木の整備を行うことができないか伺う。

答 道立広域公園については、去る7月12日の北海道予算特別委員会において、知事より「白糠町泊別地区を12カ所目の道立広域公園の候補地として決定する」と表明をいただき、非常にありがたく、応援していただいた皆さまにも感謝しているところであり、知事の表明を受けて、これから加速度的に事業が展開されていくことを期待している。当該広域公園については、今後、民間事業者から広く意見や提案を求め、事業への有用な意見やアイデアを収集する「サウンディング調査」が進められていくと伺っている。

これから道立広域公園の全体コンセプトが決定されていくものであり、提言された町道庶路8号線への桜並木の整備についても、今後、北海道、民間事業者と協議してまいりたいと考えている。また釧路市の「桜を植える会」からもお手紙をいただいているので、今後ひとつの考えとして提案していく。



## 文教常任委員会

8月1日 8月25日 9月12日 9月27日 10月16日

- ◎ 中河 敏史
- 立石 敏巧
- ◎ 今田 池村
- 石田 睦子
- ◎ 陸子 美博
- 正 義

所管事務調査項目  
 ・ふるさと納税に関する事  
 ・防災・減災対策に関する事  
 ・白糠高校魅力化に関する事  
 ・社会福祉センターの改築に関する事

9月定例会で「社会福祉センターの改築に関する事」を追加した右記の計4項目を12月定例会までに継続して調査を行うこととした。

※継続調査項目とは、定例議会開催中に調査出来なかった事項について次の定例会までの3カ月間で継続して調査する内容となります。

## 産業厚生常任委員会

7月12日 7月31日 8月21日

- ◎ 坂本 勝雄
- 折出 征清
- ◎ 武人 静行
- 森川 裕一
- ◎ 森地 池
- 小 福

所管事務調査項目

- ・第一次産業の振興・発展に関する事
- ・移住・定住・空き家・空き店舗対策に関する事
- ・観光事業の推進に関する事
- ・地域公共交通に関する事
- ・子育て支援事業に関する事
- ・環境保全対策に関する事
- ・エソシカの有害捕獲と有効活用に関する事
- ・企業誘致に関する事

9月定例会で右記の計8項目を12月定例会までに継続して調査を行うこととした。

調査項目

「白糠高校魅力化に関する事」

10月16日 8月1日 8月25日 9月12日 9月27日

過去に高校で行ったアンケートの内容と、道内で特色のある取り組みをしている高等学校や道内の各高等学校が道外からの程度生徒を獲得しているかをまとめた資料を基に協議を行い、道外や区域外より入学生の多い高校がいくつかあることから、今後の白糠高等学校魅力化のために視察調査を行うこととした。



白糠高等学校

調査項目

「第一次産業の振興・発展に関する事」

7月12日

●新規就農者など現地視察  
 各農家、地域おこし協力隊員が作物を育てている農場を回り、それぞれの現状の取り組みや今後の展望、課題などを直接聞いた。



現地視察の様子

## 広報広聴調査特別委員会

8月17日 10月6日 10月13日

- ◎ 立石 巧
- 坂本 勝雄
- ◎ 川森 池村
- 森 武人
- ◎ 静 美博
- 敏 史

8月17日にポールスター札幌で「伝わる議会報の編集ポイント」をテーマに、(一社)自治体広報広聴研究所代表理事・広報アドバイザーの金井茂樹氏を講師として議会広報研修会が開催され、広報広聴調査特別委員会委員3人が出席しました。



広報研修会受講の様子

7月31日

8月21日

新規就農者などから聞き取った内容の取りまとめを行った結果、担当課との情報共有の必要性や、情報提供をお願いしたい部分が発生したことから、担当課から資料に基づいて説明を受けた。

●新規就農者などからの主な課題

①エコ野菜(名称不明)の認証制度について

エコ野菜認証制度について町として相談を受けたことはない。

また、北海道にはエコ野菜の認証制度がなく類似するものがあるので、北海道釧路農業改良普及センター釧路中西部支所が窓口になるのでつなぐことは可能。

②ストロークラッシャーなど農業機械について

町の新規就農者支援事業の施設等整備事業、施設整備等助成事業を活用し整備していただきたい。

## 道の駅移転改築及び白糠駅周辺整備調査特別委員会

9月11日

- ◎ 立石 巧
- 池村 美博
- ◎ 森 武人
- ◎ 川森 静
- ◎ 今田 睦子
- ◎ 坂本 勝雄
- ◎ 折出 中河
- ◎ 福地 池
- ◎ 小 石
- ◎ 征清 敏史
- ◎ 敏行 裕一
- ◎ 憲 正

●正副委員長互選について  
 委員長および副委員長の互選が行われ、委員長に立石巧委員、副委員長に池村美博委員が選出されました。



池村副委員長



立石委員長

8月25日

## 議会運営委員会

8月25日 9月4日 9月14日 9月15日

- ◎ 折出 征清
- 中河 敏史
- ◎ 池村 美博
- ◎ 坂本 立石
- ◎ 小 池
- ◎ 勝雄 巧
- ◎ 憲 一

●令和5年第3回定例会の一般質問について  
 一般質問の内容などの精査を行った。

9月4日

9月14日

9月15日

●令和5年第3回定例会の運営について  
 会期の日程および議案などの取り扱いについて協議した。

## 行政視察の受け入れ

- 東京都八王子市議会 (自民党新政会)
- 7月19日《ウレシパチセ》
- ・千人同心に係る白糠町の歴史について
- ・白糠町と八王子市との交流事業について
- 秋田県大館市議会 (総務財政常任委員会)
- 7月31日《白糠町役場》
- ・ふるさと納税について
- 千葉県銚子市議会 (公明 新風、みらい、立憲民主)
- 8月22日《白糠町役場》
- ・ふるさと納税について
- 北海道置戸町議会 (総務常任委員会)
- 10月2日《白糠町役場》
- ・太陽の手子育て支援について
- 北海道増毛町議会 (議会運営委員会)
- 10月5日《白糠町役場》
- ・議員の成り手不足対策への取り組みについて



# 町民と議会の懇談会

「皆さんの声」を聞かせてください

今年も町民の皆さんと地域の課題について、今後の議会活動に役立てながら、町民と協働のまちづくりを進めるため懇談会を開催いたします。

町民と議員が自由に意見交換する場として実施します。

町民の方ならどなたでも参加できますので、皆様のご来場をお待ちしています。



と き / **11月14日 火 18時30分**

と ころ / **社会福祉センター 2階研修室A**

●質問事項のある方は充実した協議としたいため、できる限り質問内容を11月7日までに事前提出してください。

- ・提出方法 / お名前、質問事項を記載の上、FAXまたはメールにて白糖町議会事務局まで提出願います。

メール：[giji@town.shiranuka.lg.jp](mailto:giji@town.shiranuka.lg.jp)

FAX：2-4659

## 当日スケジュール

18:00 受付

18:30 開会

・主催者あいさつ

・趣旨説明

18:40 地域の意見交換

20:00 閉会



## あしがき

役場職員時代『広報しらぬか』を5年間担当していた経験から、『議会だより』の編集委員として関わることができ、うれしく思っています。

新聞や広報などの記事では、漢字や平仮名、片仮名などに、使えるものや使えないもの、送り仮名の付け方など、さまざまな決まり事があります。

そこで、現職時代に愛用していた『記者ハンドブック・新聞用字用語集』の最新刊第14版を購入し、議会だよりの原稿作りから、編集作業に取り組んでいます。

読みやすい議会だよりの作成を目指し、6人の編集委員で、入念な点検・編集を行っています。最後まで読んでいただき、ありがとうございました。(森 武人)



## 今号の表紙



今号の表紙は、アイヌ民族伝承儀式「フンペ（鯨）まつりイチャルパ」でアイヌ文化活動施設ウレシパチセでのカムイノミになります。パシクル自然公園へ移動したあと、ヌサオンカミヤイチャルパの儀式を行ったほかフンペ・リムセなどの古式舞踊を奉納しました。